



一般社団法人 日本地下鉄協会

協会 ニュース 令和元年 11 月 13 日 発信

担当 川村 廣栄

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



## 記事

昨日(11月12日(火))、自由民主党 鉄道議員連盟・地下鉄推進議員連盟合同会議が開催され、当協会から各地下鉄事業者の代表者13名及び協会の波多野専務理事が出席し、協会を代表して波多野専務理事から関係国会議員に令和2年度地下鉄関係予算に関する要望事項の実現を要請しました。要望書は別添のとおり。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加を希望する場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

また、本短信について、是非ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: kawamura@jmetro.or.jp

# 令和2年度予算要望

## (都市鉄道整備事業等)

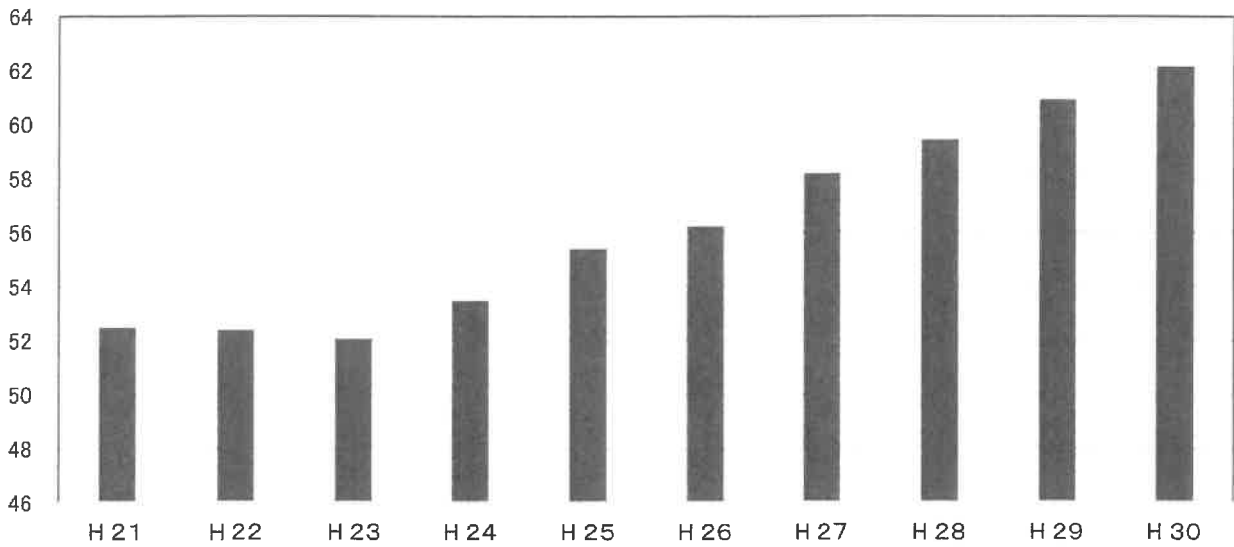
令和元年 11 月

一般社団法人 日本地下鉄協会



### 全国地下鉄輸送人員の推移

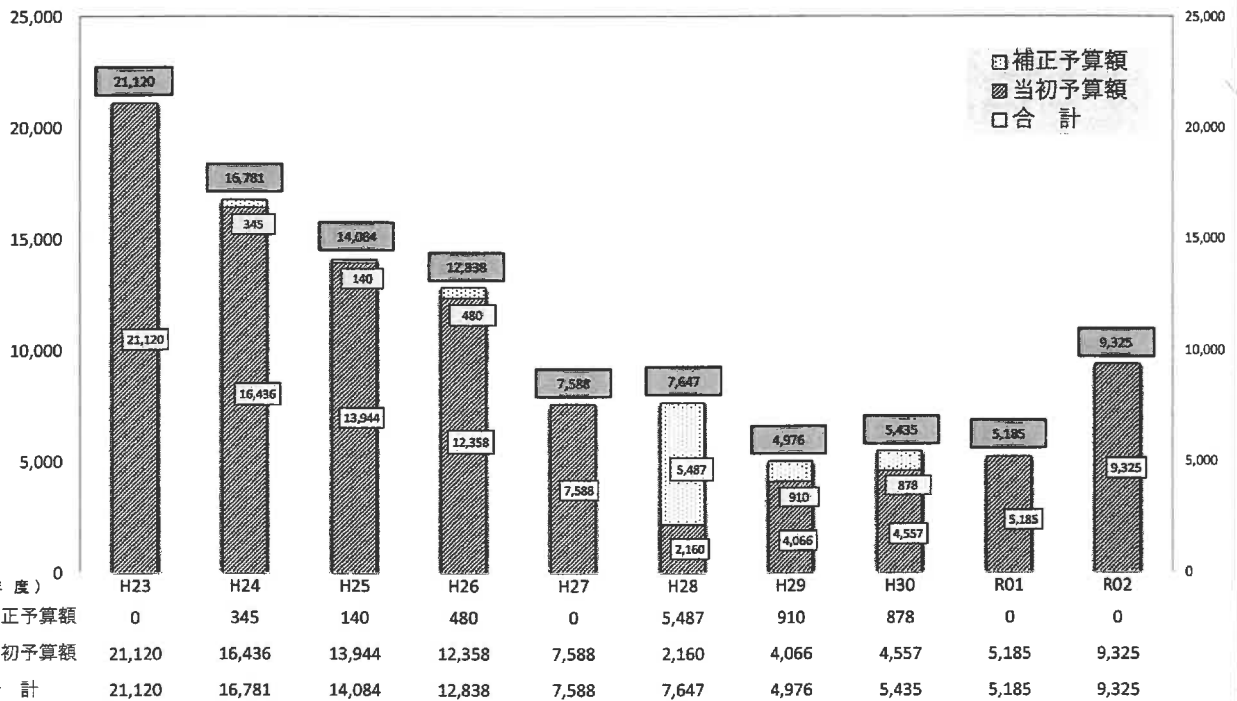
億人



### 過去10カ年の都市鉄道整備事業費補助予算額

(地下高速鉄道)

(単位：百万円)



(注) 令和2年度(R02)は、概算要求額

地下鉄の建設、改良につきましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

地下鉄は、開業以来 90 年を経過し、この間相互直通運転など大都市圏域における基幹的交通手段として、その新設、延伸、改良は、社会・経済活動に極めて大きな効果をもたらしております。

地下鉄は、安全で安心・快適な輸送サービスを提供し、人とまちを結ぶ公共交通機関としてその暮らしを支えるとともに、併せて、道路混雑緩和と CO2 の排出削減等地球温暖化対策にも寄与するところ大であります。

しかしながら、少子化・高齢化社会を迎える中で、地下鉄事業者は、経営効率化を目指した取り組みを進めるとともに、喫緊の課題としての鉄道施設の老朽化、耐震補強、浸水対策はもとより、バリアフリー化・ホームの安全対策、省エネ化などに、関係者一丸となって取り組んでいるところです。

何とぞ、地下鉄の効用とその整備の緊急性をご理解賜り、令和 2 年度予算の都市鉄道整備事業費補助金として **9,325 百万円** を確保し、これに対応する地方財政措置を講じていただくなど、特段のご配慮をお願い申し上げます。

## 【予算要望事項】

### I. 都市鉄道整備事業費補助金 9,325 百万円

- 福岡市七隈線の延伸整備
- 列車遅延防止や列車運行円滑化のための駅の大規模改良  
(泉岳寺駅、木場駅等)
- トンネル、高架橋、駅等の耐震対策
- 河川の氾濫や津波、高潮等に伴う浸水対策
- ホームドア等の新設、増設
- 高齢者や障害者等のためのエレベーター等の新設、増設

### II. 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

6,003 百万円

- 訪日外国人旅行者が公共交通機関においてストレスフリーで快適な旅行環境整備のための駅等のバリアフリー化、トイレ施設、多言語化対応設備等の整備

### III. 交通システムの低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業費補助金

9,650 百万円の内数

- 国土交通省と環境省の連携事業 (鉄道の省エネ化事業)